

令和5年2月3日

## 札幌中小建設業協会 令和4年度安全標語

〔 優 秀 賞 〕

### 仲間と密に安全確認 大きな事故の小さな予兆 皆で気付こう(築こう)ゼロ災害

作者 中 村 嘉 明 氏 (株創建)

[※令和5年度の安全標語は、2月から募集開始予定です。](#)

## 会長年頭所感

新年明けましておめでとうございます。2023年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。日頃より、当協会の活動、事業推進に格別のご理解ご協力を賜っていますことに厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が続き、感染者数の増減を繰り返しました。一方で、国際線の再開や海外客の水際対策緩和など、社会経済活動の再開に向かって動きが徐々に活発になっています。3年ぶりという枕ことばの下、多くのイベントや行事も再開しました。

当協会の活動も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、予定していた行事の実施にも影響がありました。その中でも工夫しながら事業実施できないかと知恵を絞ってきました。

今年は私が会長になり3年目を迎えます。この間ずっとコロナ禍で歯がゆい思いを抱いてきましたが、会員企業にしっかり還元できるよう引き続き努めます。今後も変化に対応しながら会員企業の課題解決に向け、会員一丸となって取り組む所存です。

昨年末の札幌市長陳情では、最低制限価格の引き上げを含めた入札制度や公共事業予算の確保、適切な予算執行、担い手確保・育成支援を要望させていただきました。特に最低制限価格の引き上げは働き方改革や資材価格の高騰など多くの課題解決の糸口となる重要な事柄だと認識しています。

業界を見ますと、24年に迫った建設業における時間外労働の上限規制への対応は喫緊の課題です。受注者側の工夫や努力はもちろんですが、発注者側も考慮していただくことでより良い就業環境につなげていきたいと考えています。

また、資材価格の影響も大きく受けており迅速な単価の反映を強く求めます。最低制限価格の引き上げや単価反映のタイムラグがなくなることで、働き方改革などの取り組みにつなげていきます。

札幌市は22年8月に市制施行から100周年を迎えました。北海道新幹線の札幌延伸や都心部の再開発、30年の冬季五輪・パラリンピック招致など新たな時代に向けた動きも出ています。当協会としては、18年の北海道胆振東部地震のような大災害が発生した時に、地場の建設業者としていち早く対応するという使命感を持ち、引き続き安全・安心なまちづくりに貢献していきます。

今年につきましては、攻める1年にしていきます。しっかりと感染症対策を取りながら予定する全ての事業が実施できるよう準備を進めます。コロナ禍でリモート会議等が定着しましたが、対面で意見を交わす機会の重要性も再認識しました。区ごとの意見交換など会員企業の意見を聞く場を再び設けたいと思っています。

結びに、新年が皆様にとって実り多く素晴らしい年となりますよう心より祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

令和5年新春 一般社団法人札幌中小建設業協会 会長 大井 貞雄

## 行 事 情 報

### ○ 定時総会が開催される。

一般社団法人札幌中小建設業協会第14回定時総会が1月26日、札幌パークホテルで開かれ、会員社77社(85名)の出席と委任状51社により行われました。昨年は、北海道全域でまん延防止特別措置となり急遽中止とし、書面総会となりましたが、2年振りで無事に開催となりました。

定時総会の議事内容は、本号にてお知らせしておりますので、後ほどご覧ください。提出議案については、全て承認されました。



“総会風景”

## ○ 新春懇談会が3年振りに開催される。

3年振りとなる一般社団法人札幌中小建設業協会新春懇談会が1月26日、札幌パークホテルで開かれ、会員社81名並びに吉岡札幌市副市長、中田交通事業管理者、佐々木水道事業管理者、天野建設局長、荻田下水道河川局長、中村都市局長はじめ多数の来賓を迎え執り行われました。

懇談会は、大井会長挨拶の後、御来賓の吉岡副市長が祝辞の中で、札幌中小建設業協会会員企業の日頃からの安全、安心への取組と胆振東部大地震での被災以来の尽力に謝辞を述べるとともに「とりわけ昨年豪雪時に会員企業の皆様が結束して乗り切っていたいただいた。地元中小建設業の経営安定はインフラ維持にもつながり、災害時の機動力の点で欠かせない存在。今後とも色々な面でご協力、支援をいただきたい。」「今まさに予算査定が始まっているところだが、事業予算を確保し、協会の皆様と連携を図りながら、確実に事業を進めていきたい。」とのご祝辞を頂戴しました。

## 定時総会の概要

1月26日(木)午後4時より、パークホテルにおいて、当会の第14回定時総会が開催されましたので、本号ではその概要について報告いたします。

### 【司会】

当日は、まず、司会を務める三鍋総務委員長(株佐野重機)から、会員社77社(出席85名)、委任状提出51社であり本総会が成立していることを報告した後、大井会長(株オオイ工務店)から以下の挨拶がありました。

### 【大井会長挨拶】

令和2年の新型コロナウイルス感染症の発生以来、事業中止、規模縮小を余儀なくされてきたが、今年度は、従来規模で各種事業の実施を目指したい。

この間、令和3年に10社、令和4年は3社に加入いただき、協会としても一段と充実の方向にある。

とりわけ、新年度事業の皮切りとなる地域別懇談会の4年振りの実施に向けて準備を進めたい。会員各位から直接ご意見を伺う貴重な機会、そこで出された意見を市の関係部局に挙げていく他、土木・舗装・建築技術委員会において具体化して提案する等、協会として必須の事業と考えている。「ネストホテル札幌駅前(旧チサンホテル)」において3月末に実施予定なので、是非ご出席願いたい。

### 【新入会員紹介】

令和3年入会が、(株)ミチシタ技建、(株)内山、協和建設(株)、北海道相互建設(株)、興亜技建(株)、(株)ナルミ、石倉営繕工業(株)、コニシ工営(株)、丸源三上産業(株)、八甲建設(株)の、10社の皆様。

次に、令和4年入会の、マルコー開発(株)、(株)剛伸、(株)北海道ライン工業の3社、合わせて13社の皆様です。うち御出席の10社の皆様からひとつづつご挨拶をいただきました。



“新会員紹介風景”

### 【中西議長選出】

会則の規定により、1月20日(金)開催の定例役員会において、あらかじめ選出された中西副会長(中定建設工業(株))が議長を務めることとし、以下、議事を進行。

### 【議事進行】

中西議長の進行により、以下、報告2件、議案3件について審議。

### 報告第1号 令和4年度事業報告

嘉屋副会長(株)園建より報告。

「令和4年度事業報告」をいたします。議案書は2頁です。

まず、大項目1点目の 総括としまして、

令和4年度は、札幌市の建設事業費1,045億円が計上され、これは、先に提案されました「札幌まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019」による5年間の建設事業費総額5,938億円に基づくものであり、ここ数年安定した発注に至りました。

しかしながら、過去の工事量減少の影響から、経済情勢が不透明な中、雇用の確保、人材育成、資材不足等多くの課題があり、特に現場従事者不足が顕著で、中小建設業には多くの面で困難な年でありました。

そのような中で本会は、ますます重要となっている中小建設業の結束を図るため、会員の意見、要望集約に取り組むと共に、組織の強化を目指し、本会の運営

を進めてまいりました。

(次に、議案書2頁～3頁)大項目2点目 **各種会議**ですが、

- (1) **総会、新春懇談会**ともに、全道でのまん延防止特別措置により、急遽、中止とし、替わって、メールによる書面総会の実施としました。(2) **理事会(正副会長会議)**、(3) **役員会**、(4) **委員会**は予定どおりの開催となり、(5) **地域別会員懇談会**については、残念ながら中止となりました。

(続いて、議案書3頁～5頁にかけて)

大項目3点目 **調査研究・研修事業**ですが、

- (1) **代表者研修会**については、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となりましたが、これに代えて、札幌市から情報提供を受け、広報紙であります『中建協だより』により会員への周知を図りました。
- (2) **現場技術者研修会**については、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、人数制限を設けた上で、3年ぶりに集合研修を実施することが出来ました。合わせて「オンデマンド」「リモート研修」として実施し、初のハイブリッド型研修会としました。
- (3) **秋季代表者研修会**は、クラーク総研の前田代表による講演を実施することが出来ました。しかし、研修会後に市の幹部職員を招いて行う懇談会は中止といたしました。
- (4) **工事施工に伴う諸問題の調査**を、アンケートにより調査しました。
- (5) この調査により現場技術者から集約した意見、要望をテーマに札幌市5部局の課長クラスと**意見交換**を行い、解決・改善の方向を探りました。都市局との意見交換会は従来どおりの実施となりましたが、財政局工事管理室、土木部・下水道河川局・給水部とは、対面で3年振りの意見交換会となりました。
- (6) その内容を取りまとめて、「**意見交換会の概要**」として報告書にまとめ、全会員と札幌市関係部局に配布しました。

(次に議案書6頁～7頁)大項目4点目 **安全推進事業**としましては、

- (1) 例年4月に開催しております**安全大会**については、新型コロナウイルス感染症対策に配慮し、規模縮小の形で実施しました。また、同時に開催の、安全管理(年間総括)講評会を、札幌市から情報提供を受け、広報誌『中建協だより』により周知しました。

- (2) 安全管理現場研修を規模を縮小して10月に実施し、
- (3) 普通応急手当講習会は、豪雪の影響で、4月に実施しました。
- (4) 令和2年9月に札幌砕石共販との間で締結しました災害協定について、今年  
は引き続き、緊急連絡網を確認、継続しました。
- (5) 市有施設に係る災害時伝達訓練、参集訓練として、3月、並びに11月に多くの  
の会員企業の参加のもと、実施しました。

(次に議案書7頁～8頁)大項目5点目 防犯推進事業では、

- (1) 防犯推進部の活動状況としては報告のとおり、取扱件数2件で、前年比-3件  
の減少でした。その内訳で暴力団に係る事案はなく、いずれもクレーム対応  
に関する相談でした。

また、暴力団の現状等講話を実施しました。

- (2) 暴力追放事業の参加、推進としては、

ア「北海道暴力団排除推進会議」については、新型コロナウイルス感染症対策のため「書面  
開催」となりましたが、意見書を提出しました。

イ「暴力団離脱者支援協議会」についても、「書面開催」となりました。

ウ「夏の暴力追放運動」に参加いたしました。

エ 10月の「北海道暴力団追放道民大会」、「札幌地区暴力追放総決起集会」に参  
加しました。

また、オ12月の「冬の暴力追放運動」に参加しました。

- (3) こども110番事業への協力を継続し、会員企業が市内各所において、子供  
たちの安全安心を見守る地域貢献活動を実施しました。

- (4) 認知症見守り隊110番事業への協力を継続しました。

(次に、議案書9頁)大項目6点目 要望・陳情活動では、

- (1) 市長陳情を12月下旬に実施し、4項目の申し入れを行ないました。

- (2) 自由民主党札幌市支部連合会と政策要望懇談会を開催しました(報告はメー  
ルによる開催、要望懇談は対面にて開催)。

(次に、その下)大項目7点目 親睦事業ですが、

例年どおり、6月に協会主催による親睦ゴルフ大会を開催しました。

(また、その下)大項目 8 点目 広報活動としては、広報誌

『中建協だより』を年 6 回 (1、4、5、6、10、12 月号、うち臨時号 1 回) 発行しました。また、ホームページを新設しました。

最後に、(議案書 10 頁)大項目 9 点目 会員の動静ですが、令和 4 年中の入会企業が 3 社、退会企業が 1 社あり、会員社 132 社となっております。

## 報告第 2 号 令和 4 年度決算報告及び監査報告

千葉副会長 (光建工業㈱) より報告。

「令和 4 年度決算報告」につきまして、ご説明申し上げます。議案書は 11 頁から 14 頁です。

社団法人として第 3 期の決算となりますが、札幌中小建設業協会としては通算で 14 回目の決算となります。

(中略)

新型コロナ感染症対策のため、事業規模の縮減を余儀なくされましたが、ほぼ、当初想定した予算規模での決算数値となりました。

以上で令和 4 年度の決算報告を終わります。

## 監査報告

和泉監事 (㈱和泉組) からの監査報告。

去る令和 5 年 1 月 20 日、札幌中小建設業協会事務局において、大井会長、嘉屋副会長、三鍋総務委員長の立会いのもと、令和 4 年度会計における、収入支出決算について、通帳並びに関係帳簿、証票書類等を照合検査の結果、いずれも適正に、正確に処理されていることを確認しましたので、ここに報告します。

## 議案第 1 号 役員改選の件

長江副会長 (道建工事㈱) より説明。

〔提案理由〕

・平成 30 年より当協会の「監査役」として、法人化後の「監事」として役職を担われてきた タニケン工業㈱ 谷 和雄代表取締役会長より、一身上の都合により職を退きたいとの届けがありましたので、これをお受けし、後任に、札幌建設運送㈱ 矢部和彦代表取締役社長を選任するため、本議案を提出いたします。

なお、定款第 22 条により、新任監事の任期は、前任者の残存期間とすることから、昨年、議決いただきました今期の役員任期、令和 3～5 年期と同一となり、偶数年となる令和 6 年 1 月定時総会の終結時まで(1 年間)となります。

## 議案第2号 令和5年度事業計画(案)

鈴木和茂副会長（新立大一興業㈱）より説明。

「令和5年度事業計画（案）」を説明いたします。議案書は17頁です。

具体的な説明に先立ちまして、全体の見通しについて述べさせていただきます。ご案内の通り、新型コロナウイルス感染症の拡大が収まる状況には至っていない現状でございます。

しかし、国・道による行動制限の発令がない、との前提に立って、社会経済活動が徐々に回復する方向で各種事業の実施が可能になるのではないかと、この一年の協会運営を行う予定であります。令和元年以来、4年ぶりに従来規模での事業の実施に向けて、準備を進めて参りたいと考えております。

また、これまでの経験を踏まえて、メールや広報誌『中建協だより』の活用、オンデマンド研修等、複数の手法を活用して開催するなど、その都度、判断をして参ります。

引き続き、感染症の動向を見極めながら、会員の皆様に行事案内を行っていく、ということになりますが、ご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

大項目1点目 各種会議ですが、

- (1) 総会、(2) 理事会、(3) 役員会、(4) 委員会を記載のとおり行ないません。
- (5) 地域別会員懇談会を3月末に計画しております。

2月に入りましたら、新型コロナ感染症の状況を見極め御案内をいたしますので、ご参加の程よろしく願いいたします。

(議案書17頁～18頁)大項目2点目 調査研究・研修事業ですが、

- (1) 春季の代表者研修事業を、予算確定後すみやかに
- (2) 現場技術者研修会を6月に、また、
- (3) 秋季代表者研修会を11月に、それぞれ開催予定としております。
- (4) 工事施行に伴うアンケートにより現場意見を調査し、その結果に基づき札幌市との意見交換のテーマといたします。
- (5) 現場技術者から集約した意見、要望をテーマに、札幌市関係部局の課長クラスと7～8月に意見交換を行います。
- (6) その内容を取りまとめて、「意見交換会の概要」として報告書にまとめ、全会員と札幌市関係部局等に配布します。
- (7) 大型工事見学会は、対象現場があれば随時実施します。

(議案書18頁)大項目3点目 安全推進事業としましては、

- (1) 安全大会を安全管理(年間総括)講評会を含めて4月に開催、
- (2) 安全管理現場研修を9月から10月の間に実施します。
- (3) 応急手当講習会を春の工事開始前3月に行ないます。

(議案書18頁～19頁)大項目4点目 防犯推進事業では、

(1) 防犯推進部の体制については、従来通り防犯推進部長が毎週1日乃至2日常駐し、その対応を行います。

(2) 公益活動への参加については、

- ① 暴迫センター事業への参加
- ② 「北海道暴力団排除推進協議会」への参加

(3) こども110番事業への協力

について、引き続き、多くの会員企業からご協力頂きます。

(議案書19頁)大項目5点目 要望・陳情活動では、

(1) 市長陳情を12月下旬に実施し、申し入れを行ないます。

(2) 財政局契約担当、建設局工事担当等の関係機関との意見交換会を必要に応じて実施します。

(その下)大項目6点目 親睦事業について、

今年度は、ゴルフ大会の開催を予定しておりますが、ほかに良い提案があれば、適時実施を計画します。

大項目7点目 広報活動としては、

研修事業や役員会の動向等各種情報を提供する『中建協だより』を(1, 2, 4, 5, 6, 10, 12月の)年間7回発行する予定です。

また、災防協のホームページ内に間借りしておりました『中建協ホームページ』につきまして、昨年から、独り立ちをしてリニューアルしております。『中建協だより』の発行に合わせて、逐次、改訂・追加して参りますので、御覧をいただければと存じます。

最後に、大項目8点目 行政機関等に対する協力として、暴力追放センター等の行政機関等が実施する啓発、公益事業に適宜参加・協力します。

### 議案第3号 令和5年度予算(案)

鈴木吉則副会長（丸菱建設㈱）より説明。

「令和5年度予算（案）」を説明いたします。議案書は20頁です。

費用全体としては、令和2年以降、新型コロナウイルス感染症対策のもと、事業の中止、規模縮小を余儀なくされながらの協会運営を続けて参りましたが、今期につきましても、感染症終息の見通しがつかず、依然として不透明な情勢にあることから、引き続き、厳しい状況が続くものと認識しております。しかしながら、国、道による行動制限が発令されないという前提で、各事業を出来るだけ従来の規模で実施したい、との方針で予算案を作成しております。

なお、個々の事業の実施につきましては、定例役員会での検討を経て、その時点で、最善の形での実施に努めていく考えでありますので、会員の皆様のご理解をいただければと存じます。

（中略）

これらの結果、収入、支出同規模の収支見合いの予算案となりました。今後とも、経費の見直しを進めながら、効率的な協会運営に努めて参りたいと考えております。

以上で令和5年度収支予算(案)の説明を終わります。

### 事務局より

・お陰様で、2年ぶりに定時総会を、また3年ぶりに新春懇談会を開催することが出来ました。お忙しい中にも関わらず、多くの会員企業の皆様に御参加いただき、誠にありがとうございました。

・また、当日欠席された会員の皆様には、議案書、会員名簿を御配りさせていただきます。今なお新型コロナウイルス感染症が拡大し厳しい状況が続きますが、会員の皆様の一層のご健勝を祈念しております。